

三島駅南口再開発 市民向けに勉強会

きょうも開催

三島市土地開発公社が同市のJR三島駅南口の再開発事業で、西街区の土地を東京急行電鉄に売却した問題への理解を深める市民向けの勉強会が二十六日夜、同市南本町の市社会福祉会館であった。

市の再開発事業に反対する地元住民でつくる「三島

JR三島駅南口の西街区の土地売却問題について説明する渡辺豊博さん(左)＝三島市南本町の市社会福祉会館で



駅南口の整備を考える市民の会」が主催し、約三十人が参加。代表の渡辺豊博さん(左)が講師を務めた。

渡辺さんは西街区の土地売却について、価格設定や不動産鑑定、手続きなどの観点から問題点を指摘。

「三十日に住民監査請求を行い、安価な土地売却と東急への便宜供与の真相を明らかにしたい」と語った。

西街区の土地売却を巡る市民の会の主張に関して、豊岡武士市長は「法令や規則にのっとりて事務を進めてきた。きちんと不動産鑑定を行い、その価格以上で売却した。不当に安くしたということはありません」と反論している。

勉強会は二十八日も午後二時から、市社会福祉会館で開かれる。

(佐久間博康)